

進路指導課

1 今年度の重点目標

3年間を貫く計画的かつ組織的な質の高い進路指導により生徒個々の能力を伸ばし、学ぶ意欲を喚起するとともに、進路目標の早期確立と、第一志望校への進路実現率の向上を目指す。

- (1) 第1学年より学習に意欲的・主体的に取り組む生徒の育成を図り、個に応じた高い進路目標の設定を支援する。
- (2) キャリア教育や進路選択に関する情報発信やしかけを充実させ、高い進路志望の実現を応援する。
- (3) 第1志望を貫く精神と意識の涵養を図り、進路目標の実現に向けて、学年会・教務課・進路指導課・SSH推進室が連携した効果的な指導により学力を養成する。

2 具体的な方策

- (1) 「学部・学科説明会」（1年生7月）・「高大接続説明会」（2年生6月）・「進路講演会」（2年生6月）・「進路講演会」（3年生6月）などの取り組みを行い、生徒の進路志望の確立を後押しする。
- (2) 「大学見学会」（1・2年生8月）・「難関国立大学説明会」（3年生6月）・「医薬系学部研究会」（年5回程度）などを開催し、高い志望を掲げる生徒の支援を行う。
- (3) 3年間を見通した進路指導を確立し、学年会・教務課・SSH推進室・生徒会などとの連携強化を図りながら、効果的な「校内模試」や「補習」を企画・運営する。
- (4) 「進路ポータルサイト」「進路アーカイブ」で生徒や教職員への進路情報の提供体制を拡充する。
- (5) 「スタディサポート」（1年生）や「学びみらいPASS」（1・2年生）を通じて、個々の生徒の学習生活パターンや適性・興味関心を調査し、キャリア教育を効果的に行う。また、教科学力とジェネリックスキルを伸ばさせる行動変容を促す働きかけを行う。
- (6) 「校内模試」「校外模試」「進路志望調査」など各種データの多角的で高次元な分析・研究を行い共有化する「成績推移表」を核とした進路ナビゲーションシステムを通じ、進路実現につながる生徒の「意識改革」や「行動変容」を喚起するようなデータ活用をすすめる。

3 達成目標

- (1) 進路指導課主催の「学部・学科説明会」、「大学見学会」、「進路講演会」など取り組みを充実させ、早期の進路志望の確立を支援し、半数以上の生徒が難関国立大学を志望できるようにする。
- (2) 難関国立大学や金沢大学への進路実現率を高める。
- (3) アップグレードした進路指導体制「こまつメソッド2.0」の構築と効果的な運用を推進する。